

その4

国民健康保険傷病手当金支給申請書（医療機関記入用）

医療機関 担当者が 意見を記 入するこ ろ	患者氏名	国保 二郎												
	傷病名	新型コロナウイルス感染症による呼吸器疾患（肺炎）	初診日	令和 2年 3月 13日										
	発病年月日	令和 2年 3月 10日			発病の原因	不詳								
	労務不能と認められた期間	令和 2年 3月 10日から												
		令和 2年 3月 31日まで												
	うち、入院期間	令和 2年 3月 10日から			療養費用の種別	<input type="checkbox"/> 国保 <input checked="" type="checkbox"/> 公費（感染症） <input type="checkbox"/> 自費 <input type="checkbox"/> その他								
		令和 2年 3月 31日まで			転帰	<input checked="" type="checkbox"/> 治癒 <input type="checkbox"/> 中止 <input type="checkbox"/> 繰越 <input type="checkbox"/> 転医								
	診療日及び入院していた日を○で囲んでください。	令和 2年 3月	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31										診療実日数	22 日
		年 月	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31										診療実日数	日
		年 月	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31										診療実日数	日
上記の期間中における「主たる症状及び経過」「治療内容、検査結果、療養指導」等（詳しく）														
新型コロナウイルス感染症の疑いのため、3/10初診。検査の結果陽性であり、肺炎の症状がみられたため同日から入院。2週間程度で症状の改善が見られ、3/31に実施した検査において陰性となったため退院				手術年月日	年 月 日									
				退院年月日	令和 2年 3月 31日									
症状経過から見て従来職種について労務不能と認められた医学的な所見														
肺炎の症状の改善後も感染拡大の防止の観点から、検査が陰性となるまでは入院が必要であったため、入院期間は労務不能と判断した。														
令和 2年 〇月〇〇日														
上記のとおり相違ありません。														
医療機関の所在地		京田辺市〇〇3番地												
医療機関の名称		国保総合病院												
医師の氏名		国保 太郎				電話番号		0000-00-0000						